

2013年12月3日

バンダイ子どもアンケートレポート Vol.213

「今年のクリスマスに関する意識調査」結果

- TOPIC①: 親から子へのクリスマスプレゼントの平均予算は、**6,253円**
昨年よりも予算を「増やす予定」が2割
- TOPIC②: 親から子へのクリスマスプレゼント1位は、昨年に引き続き「**ゲームソフト**」
普段から子どもが欲しいものをリサーチ。半年前からリサーチする人も!
- TOPIC③: 楽しみにしていることの1位は、「**プレゼントをあげる**」(親)、「**プレゼントをもらう**」(子)
“**家で家族と過ごすクリスマス**”を、親も子も楽しみに。

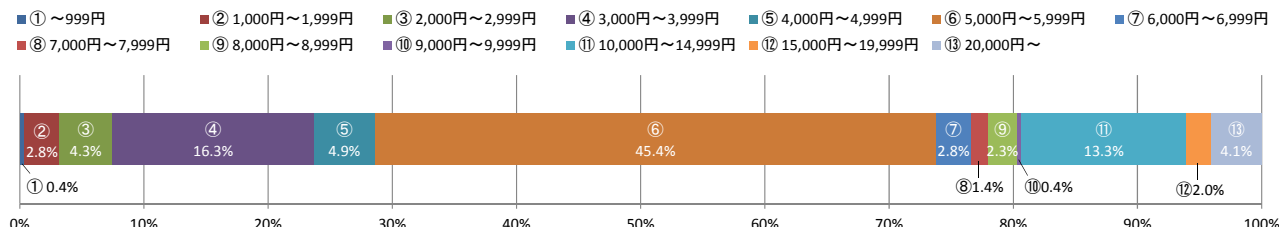
総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区、代表取締役社長:上野和典)は、0~12歳の子どもの持つ親 800人を対象に、「今年のクリスマスに関する意識調査」を実施いたしました。調査結果を以下の通り発表いたします。(実査期間:2013年11月1日~4日)

TOPIC①: 親から子へのクリスマスプレゼントの平均予算は、**6,253円**
昨年よりも予算を「増やす予定」が2割

2013年の親から子へのクリスマスプレゼントの平均予算は、6,253円となりました。価格帯としては、5,000円以上6,000円未満が一番多く、全体の4割以上を占めました。

【親から子へのクリスマスプレゼントの予算】



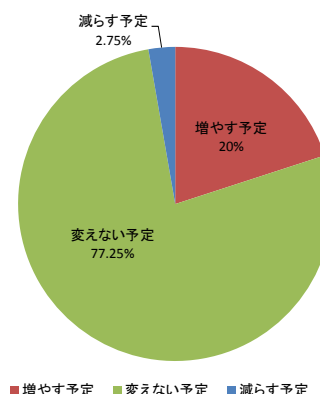
※本調査は1995年から実施しているものですが、本年は調査方法を変更しているため、前年以前との単純比較はできません。

「子どもへのクリスマスプレゼントの予算は昨年に比べて変わりますか」という質問に対しては、「増やす予定」もしくは「変えない予定」と回答した方が全体の97.25%を占める一方で、「減らす予定」と回答した方は全体の2.75%にとどまりました。

「増やす予定」と回答した方は全体の20%で、その理由として、「成長するにつれて欲しがると価格も増える傾向にあるから」、「年齢が上がると少しでも良いものを買ってあげたいから」、「自分の給料が増えたから」などの回答があがりました。また、「変えない予定」と回答した方は全体の77.25%で、その理由として、「子どもが欲しがると去年と同じくらいの値段だったから」、「値段は意識せず、子どもが欲しがると与えたい」などの回答が多くあげられました。

全体として景気回復の兆しが垣間見るとともに、子どもが欲しがるとをクリスマスプレゼントとして贈りたいという親の気持ちが、予算に反映されていることが読み取れる結果となりました。

【子どもへのクリスマスプレゼントの予算は昨年に比べて変わるか】



**TOPIC②: 親から子へのクリスマスプレゼント 1位は、昨年に引き続き「ゲームソフト」
普段から子どもが欲しいものをリサーチ。半年前からリサーチする人も！**

クリスマスプレゼントの内容は？			クリスマスプレゼントを選ぶ際のポイント		
1位	ゲームソフト	16.9%	1位	子どもが好きだから、喜ぶから	56.3%
2位	知育玩具	12.9%	2位	楽しそうだから、楽しく遊べそうだから	33.9%
3位	絵本・本・図鑑	8.8%	3位	長く遊べそうだから	28.8%
4位	ぬいぐるみ・人形・フィギュア・ロボット	7.4%	4位	勉強になるから	16.3%
5位	電車玩具	6.6%	5位	値段が手頃だから、予算内だから	12.0%

親に聞いた子どもへのクリスマスプレゼントの内容の 1 位は「ゲームソフト」(16.9%)で、昨年に引き続き 1 位となり、子どもに贈るクリスマスプレゼントとして定番の商品となっているようです。

2 位には、「知育玩具」(12.9%)が続き、3 位には、昨年の 6 位から順位を上げ「絵本・本・図鑑」(8.8%)がランクイン。「知育玩具」、「絵本・本・図鑑」を選んだ人のコメントには、「知育につながるプレゼントを贈りたい」「感性を育むことができるものを与えてあげたい」などがあり、教育や知育の要素のあるものをクリスマスプレゼントで贈る傾向が見られました。

子どもへのクリスマスプレゼントを選ぶ際のポイントを親に聞いたところ、56.3%の方が、「子どもが好きだから、喜ぶから」と回答しました。クリスマスに向けて、「欲しいものを半年前からリサーチする」、「本人の希望を、事前にサンタさんへの手紙を書かせて聞き出し、そのおもちゃの情報を集めて、早めに用意する」、「欲しい物を買ってあげたいので、どんなものに興味を持っているか常に会話の中でそれとなく聞いている」、「普段からおもちゃ売り場に行き、いろいろ触らせてみて、どのおもちゃに興味を示すか観察する」などのコメントが寄せられ、子どもに喜んでもらうために、親が早くからクリスマスプレゼント選びに取り組んでいる様子が見られました。

**TOPIC③: 楽しみにしていることの1位は、「プレゼントをあげる」(親)、「プレゼントをもらう」(子)
“家で家族と過ごすクリスマス”を、親も子ども楽しみに。**

【クリスマスで楽しみにしていること】

親			子ども		
1位	プレゼントをあげる	50.1%	1位	プレゼントをもらう	75.3%
2位	クリスマスケーキを食べる	44.1%	2位	クリスマスケーキを食べる	55.4%
3位	特別な食事(家)	31.8%	3位	家の中のデコレーション(クリスマスツリーなど)	20.9%
4位	家の中のデコレーション(クリスマスツリーなど)	23.0%	4位	特別な食事(家)	16.9%
5位	家族とのイベント・パーティー	22.0%	5位	家族とのイベント・パーティー	14.4%

クリスマスに向けて、親に「自分が楽しみにしていること」「子どもが楽しみにしていること」を聞いたところ、親は「プレゼントをあげる」(50.1%)、子どもは「プレゼントをもらう」(75.3%)、がそれぞれトップに。親は子どもにプレゼントをあげること、子どもは親からプレゼントをもらうことを、最も楽しみにしているという結果になりました。

続いて「クリスマスケーキを食べる」(親 2 位、子ども 2 位)、「家の中のデコレーション」(親 4 位、子ども 3 位)、「特別な食事(家)」(親 3 位、子ども 4 位)、「家族とのイベント・パーティー」(親 5 位、子ども 5 位)が上位にランクイン。家で家族との食事、イベント、クリスマスに向けての準備を、家族で楽しみにしている様子が見られました。

【バンダイからのコメント】 ～「絆」を感じるクリスマス～

クリスマスシーズンが近づき、街頭ではイルミネーションが始まり、クリスマスソングが流れはじめ、すっかりクリスマスモードになりました。

「クリスマスで楽しみにしていること」では、親子ともに「プレゼント」が1位となり、双方が最も楽しみにしていることが一致した「親子の絆」を感じる結果となりました。

予算については、2割の保護者の方が「増やす予定」と回答しており、景気回復への期待とともに、子どものために予算を捻出したいという親の願いを強く感じました。

プレゼントを選ぶポイントについては、「欲しいものを半年前からリサーチする」、「欲しいと思っているものをどうやって探るか毎年考えています」などのコメントがあり、親がお子さまの喜ぶ顔を見るために、早くから準備をして、プレゼントを選ぶ段階も楽しんでいるほほえましい様子が伝わってきました。

また、クリスマス当日は、家でケーキやご馳走を作って食べたり、パーティーをしたり、「家で家族と過ごすクリスマス」を楽しみにしているという結果となり、今回のアンケート調査を通して、クリスマスは「絆を深める日」、「絆が深まる日」として日本に定着していると強く感じました。

■調査概要

【調査目的】 今年のクリスマスに関する意識を探る

【調査地域】 全国

【対象者条件】 0～12歳の子どもの親

【調査手法】 インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)

【実査期間】 2013年11月1日(金)～11月4日(月)

【サンプル数】 800人

【構成】 子ども性年齢構成は下記の通り

(全体)	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～12歳
男子	100人	100人	100人	100人
女子	100人	100人	100人	100人

こどもアンケートホームページ: <http://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイホームページ: <http://www.bandai.co.jp/>